case 50 岩手県

宮古市災害資料伝承館



▲外観



▲展示解説の様子（事前予約制）



▲防災プログラムの様子（事前予約制）

プログラム紹介 Program

展示解説では、「災害から『いのち』を守る」をテーマに、東日本大震災をはじめ、宮古地域で起きた災害の記録や教訓を、展示資料や映像などを通して学ぶことができる。

災害時の自分を想像し、日頃の備えを考えるプログラムや、震災の記憶と教訓を学ぶ語り部のプログラムなど、目的に合った体験（事前予約制）も行っている。

学びのポイント

被災地域の記録や体験談から、災害の実態と避難行動、復旧・復興の歩みを学び、過去の教訓を自分の暮らしに置き換え、いざというときに命を守るための行動を考えることができる。

宮古市災害資料伝承館・高岩将洋さんのコメント

震災で起きたことだけでなく、そのとき地域の人々が何を考え、どのように行動したのかを伝えています。
経験していない災害を自分ごとに考えるきっかけになります。

参加者の声

災害の歴史とそなえを知りました。
またここに来たいと思ったし、ほかの人にも知らせたいと思いました。
（小学生）

宮古市災害資料伝承館	
申し込み方法	申込フォーム：https://forms.gle/vXjXD3fBfEgx2Qcu8 電　話：0193-65-6852、ＦＡＸ：0193-65-6853 所在地：岩手県宮古市田老字館が森129-2 ※申込フォームより申し込み、または、ホームページより「団体予約申込書」をダウンロードの上ＦＡＸ送信
申し込みメ切	・展示解説：利用日の1週間前まで ・防災プログラム：利用日の1か月前まで　※打合せが必要
所要時間	・展示解説：約60分　・防災プログラム：プログラムにより異なる
受入可能人数	・展示解説：1名～50名　※20名以上の団体は調整が必要のため事前に要相談 ・防災プログラム：10名～50名（バス1台まで） ※人数により別会場での実施となる場合あり、事前に要相談
年間受入人数	約13,000名（令和7年度）
活動期間・時間	通年9時～17時
休日	毎週月曜日（祝日の場合は翌営業日）、年末年始（12月29日～1月3日）
駐車場	あり（普通車17台、大型車3台、おもいやり駐車場1台）
料金	・展示解説：無料　・防災プログラム：プログラムにより異なる
ホームページ	https://385-densho.jp/
その他	・予約について：https://385-densho.jp/pdf/shinsei_dantai_kaisetsu.pdf ・防災プログラム詳細：https://385-densho.jp/pdf/bousai.pdf ・「学ぶ防災ガイド」や「三陸鉄道震災学習列車」との組み合わせも可能

case 51 岩手県

東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）



▲外観



▲館内展示の様子（被災した消防車両）



▲展示解説の様子（事前予約制）

プログラム紹介 Program

「命を守り、海と大地と共に生きる」を展示テーマに、東日本大震災津波の悲しみを二度とくり返さないために、津波の映像や写真、被災者の声や被災物の展示を通して、震災の事実と教訓を国内外及び次世代に伝承している。

震災津波について正しく学び、防災意識を高められるよう、解説員による展示解説を行っている（事前予約制）。また、高田松原津波復興祈念公園パークガイドでは、公園内の震災遺構の案内を行っている。

学びのポイント

館内には解説員が常駐し、わかりやすい説明により来館者の方々の理解を助けてくれる。東日本大震災津波の事実と教訓を正しく学び、災害を自分ごととして捉え、防災・減災の行動につなげることができる。

東日本大震災津波伝承館・千田房代さんのコメント

三陸沿岸は過去に何度も津波の被害を受け、立ち上がってきた歴史があります。自分の命は自分で守ることを伝える「津波てんでんこ」の教訓など、先人たちが未来に託した思いを受け継ぎ、私も次世代に伝えていきたいと思います。

参加者の声

東日本大震災について、知らなかったことが多くあると感じました。一人でも多くの人に訪れてほしいと思います。
（社会人）

東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）

申し込み方法	メール：AJ0007●pref.iwate.jp 電　話：0192-47-4455　FAX：0192-47-4466 所在地：岩手県陸前高田市気仙町字土手影180番地（高田松原津波復興祈念公園内）
申し込みメ切	来館日の2週間前まで（FAXまたは電子メールにて申し込み）
所要時間	30分～60分（応相談）
受入可能人数	２名以上から
年間受入人数	団体予約者数29,693名（2025年度実績） ※来館者数212,405名（2025年度実績）
活動期間・時間	通年９時～17時（入館は16時30分まで）
休日	年末年始（12月29日～１月３日）、臨時休館日
駐車場	あり（普通車224台、大型車33台、優先スペース４台）
ホームページ	https://iwate-tsunami-memorial.jp/
その他	ホームページより「団体予約申込書」をダウンロードの上、FAXまたは電子メールにて申し込み（電話予約は不可） ※団体予約受付（館内の展示解説、自由見学） https://iwate-tsunami-memorial.jp/reservation/

case 52 宮城県

一般社団法人　健太いのちの教室



▲女川いのちの広場



▲女川町の現地講話（教育旅行）



▲女川町の現地講話（企業研修）

プログラム紹介 Program

女川いのちの広場など町内に残る津波の痕跡をたどりながら、発災時、銀行で勤務中であった息子を津波により亡くした語り部の経験について話を聞き、当時の判断や避難対応を振り返る。形式的な訓練ではなく、現場の意見を尊重し、従業員が危険を感じたときにためらわず避難できる組織のあり方を考える。企業・組織向けの講話・ワークショップ（対面・オンライン）のほか、子ども向けには、家族や周囲に支えられて生きることを考える「いのちの学習」や、農園体験も行う。

学びのポイント

防災計画や避難訓練は、ただ作成・実施するだけでは従業員の命を守れない。誰もが遠慮することなく不安や疑問、情報を持ち寄り、現場の判断で迷わず避難できる体制を整えるなど、企業や組織における人命確保を最優先とするBCP（事業継続計画）の重要性を学ぶ。

健太いのちの教室・田村孝行さんのコメント

従業員の命を守るには、あらゆる知恵を出し合った計画と日常的な訓練、人命最優先の意識が必要です。マニュアル通り、形だけの避難訓練から脱却し、現場の従業員が主体となった「空振りを恐れない」仕組みづくりにつながればと願っています。

参加者の声

命こそ何ものにも代えられない宝であり、企業は、人の命を第一に考える文化を育むべきであるということを学んだ。
（社会人）

一般社団法人　健太いのちの教室	
申し込み方法	メール：tamuken●ark.ocn.ne.jp 電　話：090-8928-5483 所在地：宮城県大崎市松山字松山220-1
申し込みメ切	受入の1ヶ月前まで
所要時間	約1時間～1時間半
受入可能人数	・現地講話（女川町）：5人～30人 ・出張講話：制限なし
年間受入人数	1,932名対応（2025年度実績） ※現地講話（女川町）及び出張講話の累計者数
活動期間・時間	10時～16時
休日	特になし
駐車場	あり（女川町営駐車場、無料）
料金	現地講話（女川町）：10,000～20,000円 ※人数により異なるため要相談
ホームページ	https://kenta-inochiclass.com/
その他	現地講話以外に出張講話の対応も可能。講演内容や料金等については要相談。

case 53 宮城県

石巻観光ボランティア協会



石巻観光ボランティア協会提供

▲観光ボランティア集合 おもてなし


石巻観光ボランティア協会提供

▲日和山から北上川上流を望む


石巻観光ボランティア協会提供

▲北上川 かわまち大賞

プログラム紹介 Program

❖石巻・大震災まなびの案内

参加者が乗ってきたバスや乗用車に、ボランティアガイドが同乗する「車中案内」と、徒歩により被災の大きかった地域を案内しながら語り伝える「まち歩き」を行っている。震災の語り部だけでなく、市内各所の歴史についても同時に案内を受けることができる。
また、学校や各団体等を対象としたオンラインによる防災教育についても対応している。

学びのポイント

東日本大震災で最大の被災地である石巻市。復興祈念公園や震災遺構の見学を通じて、津波の恐ろしさや災害の現実を知り、自分ごととして考えるきっかけとする。また、復興した現在の姿を見て、聞くことで、被災から復興に至るまでの歩みを感じることができる。

石巻観光ボランティア協会・石川栄一さんのコメント

地震に限らず自然災害が各地で発生していることを耳にすることが多くなっています。「まなびの案内」がご自身や大切な方々を守る防災、減災のためのきっかけになれば幸いです。あわせて、石巻市の歴史や産業なども合わせてご紹介しております。

参加者の声

報道でしか知らなかった当時の様子について、実際に被災校舎を見て、語りを聞き、学ぶことができた。来られなかった皆にも伝えていきたい。　（社会人）

石巻観光ボランティア協会	
申し込み方法	メール：manabi●i-kanko.com 電　話：0225-93-6448 所在地：宮城県石巻市中央2-11-12（かわまち交流センター）（一社）石巻観光協会
申し込みメ切	原則受入の1ヶ月前まで （予約状況を確認の上、受入可能の場合は1週間前まで受付）
所要時間	・車中案内：90分／120分／150分 ・まち歩き：90分／120分／180分 （所要時間により案内ルートが異なる）
受入可能人数	1名～150名（大型バス5台分、応相談）
年間受入人数	1,491名（2025年度実績）
活動期間・時間	通年9時～17時（まち歩きは7月～9月まで実施していないため要相談）
休日	なし
駐車場	あり ・車中案内：石巻市かわまち立体駐車場 ※大型バス乗入可。駐車場は石巻観光協会が予約するため事前連絡不要。 ・まち歩き：石巻市役所1階観光案内所 ※当日現地にて総合受付または売店スタッフに声掛け。
料金	下記ホームページに記載の料金表を参照
ホームページ	https://www.i-kanko.com/kataribe/

case 54 福島県

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」



▲コミュタン福島外観



▲学校向け体験研修の様子



▲展示室見学の様子

プログラム紹介 Program

様々な体験型の展示をとおして、東日本大震災や放射線、環境問題について学ぶことができる。
学校団体向けには、放射線の測定や燃料電池の発電などの実験・ワークショップをとおし、放射線・再生可能エネルギー・自然環境・SDGsについて効果的に学びを深めるための体験研修メニューを用意している。
週末や祝日は、個人向けに、星砂ストラップづくりや液体窒素実験などの科学的な学びにつながる多様な体験プログラムを開催している。

学びのポイント

体験型の展示やスタッフとの対話、体験プログラムなどをとおして、「放射線や福島の環境等について学び、自ら考え行動する力」や「福島の状況を正しく理解する力」を身に付けることができる。

福島県環境創造センター所長のコメント

当センターは放射線や福島県の環境の今を伝える学習施設です。皆様の不安や疑問に答えるとともに、福島の環境の回復と創造への意識を深めていただき、皆様がそれぞれの立場から福島の未来を考え、創り、発信するきっかけの場となれば幸いです。

参加者の声

東日本大震災を経験していない子どもたちには驚きや発見が多かったようです。体験研修は理科の学習につながりました。
（教員）

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」	
申し込み方法	メール：yoyaku●com-fukushima.jp 電　話：0247-61-5721 所在地：福島県田村郡三春町深作10番2号 ※詳細は下記参照 ・学校団体：https://com-fukushima.jp/infomation/info_02.html ・一般団体（20名以上）：https://com-fukushima.jp/infomation/info_03.html
申し込みメ切	受入の３週間前まで ※学校団体・一般団体（20名以上）の場合のみ ※上記以外の利用の場合、館内は自由見学可
所要時間	120分～150分
受入可能人数	最大200名程度 ※希望に応じて調整可能 ※学校団体向けに40分程度の体験研修あり
年間受入人数	年間90,000名程度
活動期間・時間	９時～17時
休日	毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は翌平日） 年末年始（12月29日～１月３日）
駐車場	普通車122台、大型バス８台、身体障害者用駐車施設２台
料金	無料
ホームページ	https://com-fukushima.jp/